



## 実りの秋に神楽を奉納

八幡神社郷

9月15日、稲郷・八幡神社の例祭で“里神楽、ほしめが奉納され、五穀豊穡を感謝するとともに村人の平穏無事を祈願しました。

この神楽はいつの時代に始められたかは不明ですが、神社に伝わる天狗てんくの面には延宝9年（西暦1681年）8月15日（旧暦）と記されており、ざっと300年余りの伝統を誇る民俗芸能といえます。

現在は稲郷青年会（猪野栄治会長、16人）が立派に受け継いでおり、今年も8月25日から毎晩、舞はやしや囃子のけいこを重ね、当日は大勢の村人を前にその成果を遺憾なく披露しました。



雪国から「行国」への脱皮を強調

雪のふるまちシンポジウム開催

「活雪・親雪・遊雪」をテーマに

行政事務組合共催（共催）が9月5日と6日、市民会館で開催され、県内をはじめ青森・秋田・新潟・岐阜の各県から合計100人余りが参加、それぞれの「雪のふるまち」が取り組んでいる施策やイベントについて意見交換などが行われました。



(社)大野青年会議所主催「雪のふるまちシンポジウム in 大野」  
(大野市、大野・勝山地区広域)



初日の5日には「日本のふるさと塾」主宰の荻原茂裕さんが基調講演を行い、かつては豪雪にあえぐ1寒村だった長野県野沢温泉村が、どのようにして日本有数のスキーリゾート地として全国に知られるようになったかを紹介。「雪国から行国への脱皮、つまり、だれもが行ってみたいくなる「雪のふるまち」を築き上げるためにはそこに住む人々の知恵と力を風土の上に積み重ねていく努力が必要」と強調しました。

翌6日には、このシンポジウムのテーマ「活雪・親雪・遊雪」に沿って3つの分科会が行われ、各地が抱えている問題点や打開策を論議しました。

引き続き行われたパネルディスカッションでは「お天気博士」の倉嶋厚さん、福井市役所の小辻康雄さんら4人のパネラーから「今や雪をめぐる問題は、市や町村単位での個々バラバラな取り組みでは飛躍的な進展は望めない時代。官民ともに広域的・総合的な視野での対応策が必要不可欠」「雪と共存共栄していくには、住民一人ひとりが雪を知り、その愛すべき点と警戒すべき点をしっかり見極めることが大切」などの熱心な提言がなされました。

雪と暮らしの便利帳

『雪とのふれあい』発行

11月に全戸へ配布

市はこのほど、克雪市民会議の協力を得て『おおの 雪とのふれあい——快適な冬の暮らしのために』を発行しました。B5判52ページで1万3,000部を印刷、11月に全世帯へ配布します。

この小冊子は、冬の間、毎日雪との格闘に追われ、ともすれば守り一方になりがちな冬の暮らし、雪との付き合いについて

した。「冬のおおの」「冬の暮らし」「冬のマナー」「冬の楽しみ」の4つの項目と資料編で構成されており、写真やイラストをふんだんに使って冬の気候や雪についての基礎的な知識や、日

もう一度いろんな角度から積極的にとらえ直してみようとの主旨で編集されま

常の衣・食・住に関する具体的なアドバイスが載せられています。

雪と暮らしの便利帳として、ご家庭でご利用ください。



独り暮らしのお年寄りへ

## 給食サービス開始

1回100円で、年8回実施

市では、今年から65歳以上の独り暮らしのお年寄りを対象に、年8回の給食サービスを実施することになりました。

この給食は、市が社会福祉協議会に委託し、同協議会では各地区の実情に合わせて民生委員会や各種グループ・団体、町内会などに協力を求めて行っています。

下庄・乾側地区では、北部地区



民生委員協議会（金森幸雄会長以下19人）が担当することになり、9月7日、第1回目の給食サービスが行われました。

この日は、金森一枝さんから8人の女性委員が午前8時30分に下庄公民館へ集合、和気あいあいのうちに手際良く30人分の食事を作り上げました。敬老の日が近いことから、献立は赤飯にカボチャの煮付け、サケの照り焼き、スコなど5種類のおかず。バックに盛り付けが終わった11時ごろには男性委員も駆けつけて、それぞれ担当地区のお年寄りへ手づくりのホカホカ弁当を届けました。



玄関先でお弁当を差し出されたお年寄りは「本当にありがとうございます。お世話になる皆さんによろしく」と喜んでおられました。

市内には65歳以上の独り暮らしのお年寄りが219人いますが、そのうち給食サービスを希望した人は149人です。給食は1回600円で、市と社会福祉協議会が500円を負担するため、お年寄りは100円を負担するだけで済みます。

年8回のうち6回は宅配で、あと2回は全員が一堂に会して食事を楽しんでもらう計画です。

## いつまでもお元気で

山内市長 長寿者を訪問



老人福祉週間（9月15日～21日）にちなんで、山内市長は9月8日から4日間、米寿のお年寄りなど高齢者を一人ひとり訪問し、長寿をお祝いしました。

今年訪問したのは、木下まささん（糸魚町）ら米寿者51人と広瀬まつさん（炭生）ら95歳



の11人、白寿（99歳）の吉田とせさん（和光園）の合計63人です。米寿のお年寄りへは額入りの記念状のほか、栗田県知事からの金杯などが贈られました。

聖和園では、赤いチャンちゃんコを着た5人の米寿者と、95歳を迎えた鎌形正治さんが、ご家族ともども市長から祝福を受けました。

訪問を受けたお年寄りは身体の丈夫な人が多く、庭の松の木に登ってせん定をするという人や、20歳の時に付け始めた日記を今も毎日欠かさない人などいて、市長や同行した福祉事務所の職員をびっくりさせていました。

## お年寄り宅を

防火査察 大野地区  
消防署など

大野地区消防署と北陸電力・電気保安協会では、9月8日から3日間、独り暮らしのお年寄り宅を対象に防火査察を行い、ガス器具類に破損や異常はないか、漏電箇所はないかなど、一つひとつ念入りに点検しました。

これから冬にかけては、ガスの火や暖房器具などを頻りに利用することになりますので、ご近所の方にはこれまで以上にお年寄り宅の安全にご配慮をお願いします。



# 役所への苦情・要望は 行政相談委員へ

10月11日～17日は  
行政相談週間

国や県・市など役所が行っている仕事に対して、苦情や意見・要望はありませんか。

「苦情はあるが、直接役所に行って言にくい」「どの役所のどの課へ行ったらいのか分からない」という人は、行政相談委員に申し出られてはいかがでしょうか。

10月11日～17日は「行政相談週

間」。皆さんと役所をつなぐ行政相談委員制度をご紹介します。

## 大野には2人の委員が

行政相談委員は、法律に基づき総務庁長官から委嘱された民間の有識者で、皆さんと役所の間に立って役所に対する苦情や意見・要望を受け付け、関係する役所に働きかけて問題の解決を促します。

現在、大野市には吉田とみ子さん（本町3-1・☎66-3261）と三宅嵩さん（天神町7-4・☎65-0584）の2人の委員がおられ、毎週水曜日の午後1時～4時に有終会館で行政相談を行っています。そのほか、電話や手紙による相談も受け付けています。

昭和61年度に両委員が受け付け



吉田とみ子さん



三宅 嵩さん

た相談件数は130件で、委員はその一つひとつについて直接、または国の行政監察事務所を通じて関係する役所に対して改善や回答を申し入れました。

行政相談委員は、皆さんと役所をつなぐ身近なパイプ役。どうぞ気軽にご相談ください。費用は無料で、相談者の秘密は守られます。

### 特別行政相談会開催

福井行政監察事務所から行政監察官を迎え、次のとおり特別行政相談会が開かれます  
とき 10月14日（水）午後1時～4時

ところ 有終会館6号室  
当日は、2人の行政相談委員も同席し相談に応じます。

### 快汗、が原動力

## ゆきんこ

ゆきんこは、昭和56年に誕生したアマチュア劇団です。結成のきっかけは、市教育委員会が開催した人形劇講座で、受講者から「このまま終わってしまってはもったいない」との声



が上がり、当時義景保育園長だった出口涼子さんを会長に、劇団としての一歩を踏み出しました。

翌年、市総合文化祭に初出演して以来、幼児や小学校低学年の子どもたちに手づくりの影絵や大型紙芝居、ぬいぐるみ人形劇などをプレゼントし続けてきました。昭和60年にはその活躍ぶりが教育委員会に認められ、こども芸術劇場、

として単独公演の場を獲得しました。

現在のメンバーは20代～40代の女性ばかり15人です。ほとんどが保育園の保母さんですが、2代目会長の中村千栄子さん（43歳・開成保育園）は「児童文化に

## グループ登場

関心のある人ならどなたでも大歓迎」と、仲間の輪をもっともって広げていきたい意向です。

今年は8月23日にぬいぐるみ劇「どんぐりやまのおともだち」を上演。子どもたちは、劇が終わった後もぬいぐるみのクマさんやオオカミ君と握手をしようと舞台に押しかけ、長蛇の列をつくる盛況ぶりでした。

楽屋へ戻ってぬいぐるみを脱いだメンバーの顔は真っ赤で、全身汗びっしょり。でも、この「快汗、こそが次のステップへの原動力なのでしょう。

# 灼熱(しやう)の国 クウェートから今日は

今年の4月にクウェートの日本人学校へ赴任された山村宗武教諭(36歳・柿ヶ嶋)からこのほど、現地報告第2便が届きました。今回は、日本とクウェートの両国にとって最も関係の深い石油についてや、山村さんの近況をご紹介します。

## 〘石油に浮かぶ国、

灼熱の国クウェートは、また一方では、石油に浮かぶ国、ともいわれ、石油が国内総生産額の50%輸出額の84%、政府歳入の90%を占めています。

このような膨大な石油収入を背景に、国は社会資本・福祉・教育面を充実し、近代的福祉国家づくりを進めており、こうした面では



国営石油会社



中東において最高水準を誇っています。その一例として、公立学校の場合、幼稚園から大学まで、すべて授業料は無料で、教科書・文具類・給食など無償で支給されます。

日本との関係では、ここ数年、日本の輸出入がトップを占め、貿易収支は常に日本の輸入超過になっています。日本の輸入は、もちろん石油関係が99%近くを占めて

▶長男の尚平ちゃんと



おり、輸出は家電製品、自動車、機械などです。新聞広告にもこの種のメーカーが目立ちますし、町にもたくさんの「MADE IN JAPAN」の製品が出回っています。(中略)

## 恋しい〘御清水、の水

日本人学校にも夏休みがありますが、どんなに耳を澄ましてみても、大野で聞かれるセミの鳴き声は聞こえてきません。

また、開成中学校時代、クラブ活動で亀山までランニングしての帰りに、御清水で飲んだ水がおいしかったことを思い出し、ちょっとホームシックにかかっています。

## 暮らしの窓

学歴はもとより、今や何でもかんでも資格の時代。「就職や転職に有利」「短期間でプロを養成」などのキャッチフレーズで、各種ビジネス講座などへの勧誘が盛んに行われています。これらは主に通信教育の形をとっているため、社会人も受講しやすくなっていますがなかには結構いいかげんなものもあります。そんな一例として、〘士(さむらい)商法、と呼ばれているものをご紹介します。

この商法では、まず初めに勤務先や自宅に資格取得講座のダイレクトメールが送られてきます。そ

の後しばらくして勤務先に電話があり「この講座を受講すると〇〇士の資格が得られます。その資格は近く国家資格になるので、昇進に大変有利です」などと話を持ち掛けます。電話を受けた人は「国家資格」になるのならと思ひ、問

## 〘士(さむらい)商法、にご用心!!

われるままに住所・氏名・年齢・家族構成などを答えたところ、これが受講の申し込みとみなされ、後日、教材とともに受講料を請求してきました。

〘士(さむらい)商法、と呼ばれるゆえんは、この例のように公的な機関の資格と大変紛らわしい

名称の〘〇〇士、を強調することが多いため、いとも簡単に資格が取れるという点をセールスポイントにしていることや、執ような勧誘、一方的な代金の督促などが問題になっています。

このような電話での勧誘があったときは、あいまいな受け答えは絶対禁物です。また、受講を申し込むにしても、事前に詳しい資料を請求して、内容を十分に検討する慎重さが必要でしょう。



# 足は"第2の心臓"、

## 歩いてつくりよう 自分の健康

私たち人間は、2本の足だけを使って歩く唯一の動物です。しかし現代社会は、自動車などの機械が人間から歩く動作を奪ってしまったと言えなくもありません。スポーツの秋にちなみ、最も基本的な運動である歩行について考えてみましょう。

### 重要な足の筋肉の働き

言うまでもなく、心臓は血液のポンプ役ですが、心臓の働きだけでは全身にむらなく血液を行きわたらせることはできません。これを補うのが筋肉とその中の無数の毛細血管で、筋肉を働かすことで毛細血管が活発に伸縮を繰り返し血液を身体のスミズミにまで供給することができるのです。

このように、筋肉は心臓の働きをフォローする「補助ポンプ」の役割を果たすのですが、中でも足

の筋肉は全身の筋肉の50%以上を占めていることから、足は「第2の心臓」といわれています。

### 足を使って健康維持を

足を積極的に使うことは血液循環をよくし、呼吸機能を高めるとともに、肥満の予防やコレステロールの減少につながり、動脈硬化や糖尿病などの成人病予防にも大変有効です。その上、こころの活性化・ボケ予防にもなるなど健康維持には申し分のない効果があり中・高年の人にはもってこいの健



15 越前大野駅

「駅」をテーマにした映画は多く、どのまちも駅を中心に市街地が広がっています。大野市も、昭和35年の勝原開通、昭和47年の九頭竜湖開通を契機に、駅東地区が急速に伸び、市街地が清滝川に及んでいます。

越美北線を残そうという運動が叫ばれているものの、今一つ決定打がなく、今なおその存続が懸念されています。懸案だった物産会館も保留の形となっていますが、観光のまちとして生きるためにもこの際、高架式ステーションビルを思い切って建設してはという声も強く、資金面での明るい材料にも大きな期待がかけられています。

越前大野駅からの9月18日午前6時59分発福井行きの乗客は、150



人でした。同じ日の朝1時間の車の通勤者（いずれも1人）が、約600台でしたから、スピードアップによってその半数が越美北線利用に切り替わることも考えられ、回数を多くすることも含めて、企業努力が強く求められています。

越美北線が廃線になれば、過疎に一層拍車がかかり、市民が求めているまちの活性化が程遠いものになります。駅には今月からレンタサイクルが設置され、市観光協会分との協力の話も進んでいます。

みどりの田園を走るオレンジ色の列車は、まちが生きているシンボルでもあります。(T)

康法といえます。

では、健康を維持するためにはどんな歩き方を心掛けたら良いのでしょうか。

### 歩く距離とスピードは

いくら歩くことが大切といっても、いきなり長時間歩行に取り組むのは考えもの。まずは短い距離をゆっくり歩くことから始め、次第に距離とスピードを増していきましょう。

また、歩くときには背筋を伸ばし、両手を振ってリズムカルに足を動かしましょう。少し汗ばむ程度が適度な運動といえます。運動の前後に脈を測り、体調の良し悪しの目安を見つけることも大切です。年齢にもよりますが、運動後の脈拍数はだいたい1分間に100~120ぐらいが適当でしょう。

### 歩くことを日課の中に

体力は使わなければ衰えていきます。衰えを防ぐには、何らかの運動を毎日継続していくことが大切です。そのためにも、自分の生活のパターンに合わせて、歩くことを生活の一部にしてしまいましょう。食事や睡眠、入浴などと同じように、歩くことを日課の一つにしてしまえば、忙しくて時間が取れないということも自然となくなっていくはずですよ。

### 健康ウォーク 参加者募集中

日時 10月10日(土)午前9時から受け付け(雨天の場合は翌11日) 出発10時  
コース 保健センター前之深井之上荒井之下黒谷之黒谷観音(昼食)  
対象 市民ならどなたでも  
申し込み 10月7日(月)まで  
応募方法 保健センターへ直接電話(65-7333)で

## 話題の 交差点

### 保育園の豆消防士 晴れて“出初め式”

9月8日、誓念寺中野保育園で幼年消防クラブの発会式が行われました。

この日、晴れてクラブ員となったのは年長組の45人。かわいい法被ほっぴに身を包むと早速まといを先頭に園庭へ繰り出し、ミニ消防車からの放水を行って、無事“出初め式”を終りました。



### ちょっぴり緊張 一日救急隊長、出動

大野地区消防本部は、9月9日の「救急の日」にちなみ“一日救急隊長、に多田真由美さん(23歳・松丸)を迎えました。

多田さんは、救急車に乗るのは初めてとあって、ちょっぴり緊張気味でしたが、隊員ともどもさっそうと街頭に“出動、し市民に救急業務への理解と協力を呼びかけていました。



### 読書会のお知らせ

とき 10月11日(日)午後1時30分～

ところ 大野市図書館

テキスト 城山三郎著『素直な戦士たち』

図書館ではテキスト14冊を用意し、事前に貸し出します。

詳しいことは図書館(☎65-5500)へお尋ねください。

### 五穀豊穡の秋 献穀田にも黄金の穂

秋の新嘗祭(11月23日)にお供えする献穀米ぬきほの抜穂式が9月9日奉耕者の佐々木継治さん(右近次郎)の水田で行われました。

佐々木さん夫妻が手塩にかけて育てあげたコシヒカリは、一株ずついいねいに刈り取られ、神前にささげられました。



### 提灯を作り続けて60年 元町の沢井 正さん

傘屋さんを営みながら提灯ちようちんを作っている沢井正さん(78歳・元町)を店先にお訪ねしました。お年の割には目や耳も達者で、目下、秋の祭礼に使われる長提灯作りに余念がありません。

この日はちょうど提灯に図柄を描き、彩色している最中でした。図柄は日の出や旗、紅白幕などが喜ばれるそうで、これを赤や青などの鮮やかな絵の具で彩っていきます。

沢井さんは、父親から傘や提灯作りの手ほどきを受けてもう60年近くになります。その間、和傘は洋傘に取って替われ、提灯作りの職人さんも、大野では沢井さんただひとりとなってしまいました。

さらに後継者がいないため、祖父の代から3代続いたこの仕事も、もう正さんの代限りです。

そんな寂しさはあるものの、やはりそこは筋金入りの職人さん。「提灯は、今も昔も経験が物をいう手仕事。余生を精いっぱい生きて、立派な提灯を残したい」と笑顔でその心意気を語られました。





## 文化祭の作品募集

第21回市総合文化祭が11月1日、しっかりとつなごう 文化の輪、をテーマに開幕しますが、ただ今、展示作品を募集しています。

締め切りは10月26日(月)で、絵画・書道・工芸・写真・彫塑・余技作品など1人2点まで受け付けています。出品希望者は最寄りの公民館または市教育委員会社会教育課へお申し出ください。

詳しいことは社会教育課(☎66-1111内線184)へお尋ねください。

## 奥越路を<sup>広域行政</sup>バスで

大野・勝山地区広域行政事務組合では「広域行政バス」の参加者を募集しています。奥越の2市1村にある産業・観光施設をご案内します。奮ってご応募ください。

**日時** 11月2日(月)午前9時20分に大野市役所前を出発  
**コース** 大野市役所～和泉村穴馬民俗館・青少年グリーンセンター～前坂家族旅行村・天狗岩ファミリーパーク～九頭竜紅葉まつり会場(昼食)～宝慶寺・旧橋本家～平泉寺～奥越地域地場産業振興センター～大野市役所(午後4時30分ごろ着)

**定員** 135人  
**費用** 800円  
**持ち物** 水筒・雨具(昼食は主催者側で用意)

参加希望者は、10月14日(水)までに、はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて、〒912 大野市天神町1-1 大野市役所内大野・勝山地区広域行政事務組合へどうぞ。当日消印有効です。

## 無料調停相談へどうぞ

大野調停協会では、無料調停相談を次のとおり行います。

交通事故や土地・建物、金銭などの問題でお困りの人は、お気軽にお越しください。

調停には調停委員が当たり、秘密はかたく守られます。

**日時** 10月16日(金)午前9時30分～午後4時  
**場所** 市民会館

## 経ヶ岳登山参加者募集

県立奥越青少年の森では、次のとおり経ヶ岳登山の参加者を募集しています。さわやかな光に照り映える紅葉の登山道を、あなたも頂上めざして歩きませんか。

**日時** 10月18日(日)午前8時出発。当日雨天の場合は25日(日)に延期

**集合** 午前7時30分までに奥越青少年の森セントラルロジ前へ

**コース** 青少年の森之三角山之保月山之杓子ヶ岳之経ヶ岳

**対象** 小学5年生以上で、片道6～7キロの登山道を歩ける人(未成年者は保護者または責任ある成人が同伴)

**費用** 300円(傷害保険料含む)

**持ち物** 水筒・弁当・雨具など

参加希望者は、10月12日(月)までに、はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を書いて、〒912-01 大野市南六呂師169-8 県立奥越青少年の森(☎67-1321)へ。お問い合わせもこちらへ。

## 越前大野駅にレンタサイクル



市内観光の手軽な足、に利用してもらおうと、越前大野駅では9月1日からレンタサイクルを開始しました。

用意された自転車は10台で、料金は2時間300円～1日1,000円の時間制。詳しくは同駅(☎66-3350)でお尋ねください。

## 交通無事故を祈りミニわらじを300足

9月7日、平沢領家の山本茂さん(82歳)が山内市長を訪ね、2ヵ月かけて作った交通安全ミニわらじ300足を手渡しました。このマスコット、早速秋の交通安全運動で活用されました。



痛ましい事故の防止に

## 婦人ガイドの養成講座に30人



婦人観光ガイドボランティア養成講座(市教委主催)が9月9日から産業文化展示館で始まり、30代～50代の婦人30人が毎週1回、10月下旬まで受講し、人情味豊かな大野人がはぐくんできた歴史と風土について理解を深めていきます。



## 耳鼻科の更生相談

身体障害者の方を対象に、耳鼻科の更生・医療相談が次のとおり行われます。費用は無料です。

県立病院の医師が診断・相談に当たり、専門的な助言や指導を行いますので、ご利用ください。

**日時** 10月30日(金)午後1時～3時

**場所** 保健センター

**問い合わせ先**

市福祉事務所福祉係 (☎66-1111内線 474)

## 身障者職業訓練校 4月入校生を募集

東京身体障害者職業訓練校では職業自立をめざす障害者の皆さんを対象に、来春4月の入校生を募集しています。

**訓練科目** ビジネス文書(ワープロ)・経理事務・電子機器機械製図・写真植字・ミシン縫製・塗装など18科目

**訓練期間** 昭和63年4月から1年間(義肢装具科は2年間)

**応募期限** ▷新規学卒者…10月23日(金)▷一般第1次…昭

和63年1月14日(木)▷一般第2次…昭和63年2月10日(水)

授業料は無料で、公共職業安定所の指示を受けた場合、手当が支給されます。また、寮も完備していますので、安心して訓練に専念できます。

詳しくは、大野公共職業安定所(☎66-2408)へお尋ねください。

## 里親を求めています

県では、里親になっていただける人を求めています。

里親制度は、家庭的に恵まれない境遇にある子どもを預っていたき、温かい愛情と家庭的雰囲気の中で育てていこうというものです。

詳しいことは、中央児童相談所(☎0776-24-5138)または市福祉事務所(☎66-1111内線 474)へお問い合わせください。

## 老人家庭看護講習会

職業訓練センターでは、一般の人を対象に初心者向け老人家庭看護講習会を開きます。

**日時** 10月12日～30日の期間中

毎週2回、午後1時30分～4時

**場所** 大野地域職業訓練センター(大野市農協会館前)

**内容** ①老年期の理解②老人のからだ③老人のこころ④老人に起こりやすい病気とその看護⑤ねたきり老人の看護について

**受講料** 1,000円(テキスト代)

**申し込み** 10月7日(水)までに受講料を添えて上記職訓センター(☎65-6840)へ

## 県政バス教室のご案内

奥越地区の県民を対象に「県政バス教室」が開かれます。日程などは次のとおりです。

**日時** 10月7日(水)午前8時30分に越前大野駅前を出発

**コース** 大野駅前～県立博物館～福井臨工(昼食)～石油備蓄基地～滝谷寺～大野駅前(午後5時10分ごろ着)

**持ち物** 昼食・水筒・筆記用具

参加ご希望の方は、県広報課県民相談室へ電話(0776-21-1111)で直接お申し込みください。その際、住所・氏名・年齢・電話番号などをはっきりお伝えください。

## ゞぱれっと会、が お年寄りに似顔絵

ゞ大野ゞぱれっと会、は、敬老の日にお年寄りへ似顔絵をプレゼントしました。どのお年寄りも最初は緊張した面持ちでしたが、できあがった自分の似顔絵に、思わずにっこりしていました。



やっぱり緊張しますわ

## 上庄小児童が 稲刈りを体験



9月18日、上庄小学校 ズどろんこ農園、の実習田で稲刈りが行われ、5・6年生126人が鎌を手にいっせいに5畝の田に入ってコシヒカリともち米、合わせて270kgを収穫しました。

今後サツマイモと落花生も収穫、11月に報恩祭を開きます。

## 10月20日・29日に 真名川が増水します

真名川土地改良区連合では五条方にある真名川取水ゲートの修繕工事を行うため、次のとおり同ゲートから放水します。このため、真名川の水量が増加しますので、河川での行動には十分注意し、水難事故防止を心掛けてください。

**放水日時** ▷第1回…10月20日(火)午前8時～▷第2回…10月29日(木)正午～

# 市民カレンダー

10月10日～10月24日

## 市民のうごき (9月1日現在)

人口	42,687人 (+35)	対前月比	8月中の異動
男	20,525人 (+21)		転入 70人
女	22,162人 (+14)		転出 72人
世帯数	10,649戸 (+11)		出生 52人
			死亡 15人
			結婚 1組



**10日** 体育の日  
目の愛護デー  
健康ウォーク 9.00～15.00 保健センター集合

## 今月の納税

市・県民税 第3期分  
31日までに納めてください。



**11日** 行政相談週間  
違反建築防止週間  
ガソリンスタンド当番 カワイ(春日)・大油屋(新町) マルカモーターズ  
奥越マラソン和泉大会 10.30～ 九頭竜国民休養地



**12日** 胃がん検診 9.00～11.00 保健センター



**13日** 家庭児童相談 10.00～12.00 市役所  
健康相談 10.00～15.00 保健センター  
交通事故相談 10.00～15.00 市役所

金融相談 10.00～16.00 商工会議所  
一般健康相談 13.00～14.30 保健所  
心のおたっしや相談 9.00～14.30 保健センター



**14日** 鉄道記念日  
一般健康相談 9.00～11.00 保健所  
結婚相談 10.00～15.00 有終会館  
行政相談 13.00～16.00 有終会館

健康体操教室 13.00～15.30 保健センター  
愛育会検診 13.30～14.30 下庄公民館  
小児マヒ生ワク投与 13.30～14.00 下庄公民館



**15日** 心配ごと相談 9.00～12.00 市役所  
交通事故相談 10.00～15.00 市役所  
婦人悩みごと相談 13.00～16.00 有終会館

法律相談 13.00～16.00 商工会議所  
小児マヒ生ワク投与 13.30～14.00 富田公民館  
愛育会検診 13.30～14.30 富田公民館



**16日** 世界食糧デー  
高齢者職業相談 13.00～16.00 富田公民館  
母子健康相談 13.00～14.30 保健所  
小児マヒ生ワク投与 13.30～14.30 保健センター

小児マヒ生ワク投与 13.30～14.00 乾側公民館



**17日** 貯蓄の日  
薬と健康の週間  
金融機関休業日  
農業結婚相談 13.00～16.00 有終会館  
市民大学講座 14.00～16.00 図書館



**18日** 統計の日  
ガソリンスタンド当番 赤尾(駅前)・西田・酒井(中津川)  
経ヶ岳紅葉登山 7.30～奥越青少年の森集合

体力づくり県民大会 9.00～市民グラウンド外



**19日** 経営相談(工業) 13.00～16.00 商工会議所  
軽スポーツ教室開講 19.00～21.00 有終東小  
胃がん検診 9.00～11.00 保健センター



**20日** 精神保健  
普及運動  
社会保険年金相談 10.00～15.00 織物組合  
一般健康相談 13.00～14.30 保健所  
人権悩みごと相談 13.30～16.00 有終会館

皮膚・泌尿診療相談 13.30～15.00 保健センター  
小児マヒ生ワク投与 13.30～14.30 市民会館  
成人病健康診査 9.30～11.00 農協五箇支所  
13.30～15.00 農協乾側支所



**21日** 土 用  
献 血 10.00～15.00 Aコープ高砂店  
結婚相談 10.00～15.00 有終会館  
行政相談 13.00～16.00 有終会館

労働相談 13.00～16.00 商工会議所  
麻しん 13.30～14.30 保健センター  
成人病健康診査 13.30～15.00 榑ヶ嶋集落センター



**22日** 心配ごと相談 9.00～12.00 市役所  
婦人悩みごと相談 13.00～16.00 有終会館  
愛育会検診 13.30～14.30 小山公民館

小児マヒ生ワク投与 13.30～14.00 小山公民館  
13.30～14.30 保健センター



**23日** 電信電話  
記念日  
高齢者職業相談 13.00～16.00 上庄公民館  
母子健康相談 13.00～14.30 保健所  
成人病健康診査 13.30～15.00 農協阪谷支所

市民大学講座 14.00～16.00 図書館



**24日** 霜 降  
国連の日  
三大朝市まつり(～25日)の夕市 16.00～20.00 七間通り

発行 福井県大野市

編集

企画広報課(電話

66-1111)

印刷

(株)松浦印刷



砂山の登り口に赤い車が止まっていた。車内には人形・香りの瓶が置かれ、お守り札が掛けてあった。私は時折、人気の少ないこの山を訪ねる。毎年の降雨・降雪によって崩れゆく山道は、足もと危なく、注意して歩を進めなければならぬ。しかし春秋二回、寺の檀信徒の方々が清掃され今年も数日前の奉仕の名残をとどめ、すがすがしい山道である。▼石段を登りつめた急な狭い道で、ふらつきながら下りてくる若い男女に出会った。前後に手をつなぎ、よろよろした足どりである。「どうしたの」と道をよけて尋ねると「何でもありません」と男性が答えた。落ちついた服装や整頓された車内から推察して、よろめく足どりは下山に不慣れに違いないと思った。▼ほうきの跡がまだ残っている広場に着く。小さいお堂を半円に囲んで八体の竜神、下段には三十体の石仏、それぞれに花と水の入った新しい湯飲みが供えられていた。▼下山の途中、草の繁みに捨てて間もないと思われるナイロン袋、シナーの空瓶、丸めたタオルを見つけた私の脳裏に、さつき出会った男女が浮かんだ。「彼らが捨てた物だろうか。いや、整った身なりや言葉遣いといった彼らの仕事ではないはず。でも、あの足どりは？」と否定と疑問を繰り返した。▼萩・クス・尾花の乱れ咲く秋山を訪れた男女に「明るい未来を語り合ひ、さわやかなデートを」と堂の七面天女は声を掛けられたに違いない。(H)